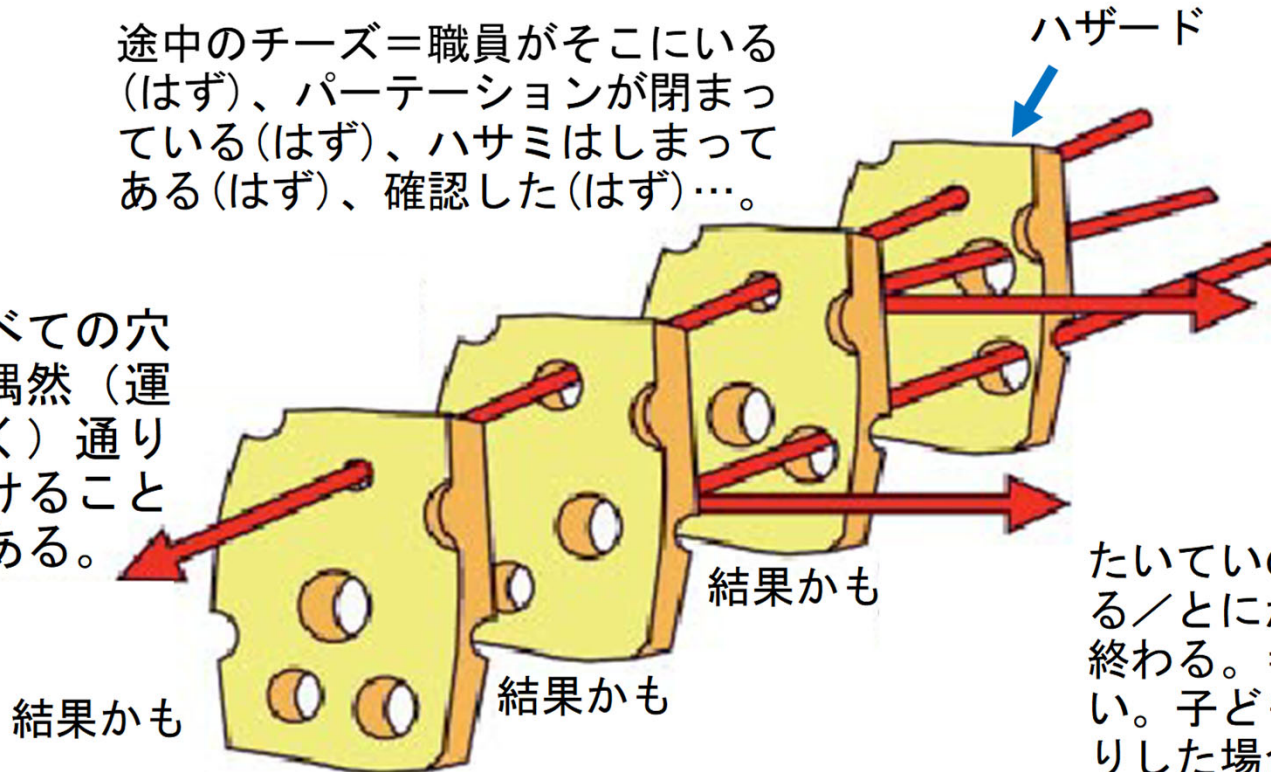


事故はスイス・チーズのようなもの (James Reason, 1990)

途中のチーズ=職員がそこにいる(はず)、パーテーションが閉まっている(はず)、ハサミはしまっている(はず)、確認した(はず)...

すべての穴を偶然(運悪く)通り抜けることもある。



最初の穴あきチーズ

ハザード(危なさ:たとえば、自動車、段差、すずらんテープ、ハサミ、他児、おとな、暑熱...、子どもにとっては、なんにもかもがハザード! 子どもは危なさを知らないから(←これ自体は悪いことではない)。

たいていの場合、誰かが気づく/自分でやめる/とにかく止まった...で、偶然(運良く)終わる。=チーズの穴は最後まで通り抜けない。子どもが自分でやめたり、偶然止まったりした場合、おとなは気づかない。つまり、ヒヤリハットにもならないニアミスとなる。